

「社会に应答するウィーン～留学を通じた都市、建築への批評～」開催！

2025年12月、科学大の派遣交換留学制度を利用してウィーン工科大学に留学した建築学系の学生による展覧会「社会に应答するウィーン～留学を通じた都市・建築への批評～」が開催されました。

ウィーンは歴史ある建物が多く残ると同時に、政治的背景により公営住宅に住む文化がいまだに強く根付く、独自性あふれる都市の一つです。展覧会では、ウィーンの街の魅力はもちろん、ウィーンで活躍する建築家へのインタビュー録も展示しました。

展覧会初日に開催されたオープニングトークの様子は以下のとおりです。

開催報告： 「社会に应答するウィーン ～留学を通じた都市、 建築への批評～」 オープニングトーク

12月8日、派遣交換留学でウィーン工科大学へ留学した科学大生による展覧会「社会に应答するウィーン～留学を通じた都市、建築への批評～」のオープニングを迎えました。

初日は企画学生4人によるオープニングトークを実施し、企画の経緯、展示の流れ、各学生の担当パートについて説明がありました。

ウィーン市は宮殿など歴史的建築に囲まれながらも近代建築が目立ち、人口増加に伴う公園整備や集合住宅の増加が進んでいます。こうした現状に関心を持ち、都市計画が「最も成功している街」といわれる所以を探るため、7組の建築家にインタビューしたことが本展覧会のきっかけとなりました。





田町キャンパス展

12月8日(月)～12月12日(金) 10:00～20:00
東京科学大学田町キャンパス CIC5F 製図室

大岡山キャンパス展

12月25日(木)～12月29日(月) 10:00～18:00
東京科学大学大岡山キャンパス 西5号館 4F
プレゼンスペース

【企画者】渡邊 修(東京科学大学修士4年)、大澤 菜緒(東京科学大学修士3年)、山田 来実(東京科学大学卒業)、北井 宏佳(東京理科大学修士3年)

【後援】JAACA(日墺建築文化協会)

問い合わせ先
渡邊 修 watanabe.o.ac@m.titech.ac.jp

展覧会では、オーストリアの歴史とともに、ウィーン市の住宅政策や都市の姿、建築家へのインタビュー内容を紹介しています。

特に、ウィーン市における住宅政策は利益目的ではなく住宅市場を守り、住宅を人権と同等に扱うという視点は大変興味深く、ウィーンで活躍する建築家は「社会に应答」し、「社会を語り」、建築で社会問題を解決していくとする姿勢がインタビューの様子から読み取れました。この考え方は、これからの建築業界を担う学生に強く響くものであったと感じました。

学生自ら発案・企画した展覧会です。建築学系の学生だけでなく、留学を検討中の方、卒業生、教職員の皆さまもぜひ足をお運びください。

文責：国際教育課海外留学グループ



【開催日時と開催場所】

田町キャンパス展

2025年12月8日(月)～12月12日(金) 10:00～20:00

東京科学大学田町キャンパス CIC 5F 製図室

大岡山キャンパス展

2025年12月25日(木)～12月29日(月) 10:00～18:00

東京科学大学田町キャンパス 西5号館 4F プレゼンスペース

【企画】

渡邊 修(修士4年) 留学時期:2024.01-2025.02

大澤 菜緒(修士3年) 留学時期:2024.02-2025.03

山田 来実('25卒業) 留学時期:2023.09-2024.08

北井 宏佳(修士3年) 留学期間:2023.09-2024.07

【後援】JAACA(日墺建築文化協会)